

本を媒介に人をつなぐ取組が広がっています！

右京区まちづくり交流拠点(MACHIKO)

3月31日(火)に本を通じて人々が交流する、みんながつくる図書館「まちライブラリー」の提唱者・磯井純充氏をお招きし、ご講演いただいた後、「まちライブラリー」を始めるためのアイデアにつ



いて話し合ったり持ち寄った本を紹介して交流を深めたりしました。絵本や学術書などジャンルも様々な本が紹介され、「自分なら絶対手に取らない本に触れて興味が湧いた」との感想も聞かれました。5月15日(金)にMACHIKOでみんなの本を持ち寄る「植本(しょくほん)の集い」を開催。それぞれ好きな本を持ち寄って語り合い、当日製作した本棚に並べました。持ってこられた方のコメントがいろいろありますので、お立ち寄りいただきぜひご覧ください。

自治会会長の濱智生さんは「ゆったり無理なく管理出来るようにルールは、『本を大切に扱う』など4つだけ。貸出期間や冊数も決めていませぬ」とのことです。「ばららを通して住民の絆が深まり、コミュニティ活性化に繋がれば」とお話ししてくださいませ。皆さんも、本の持つ力で交流してみたいいかがでしょうか？

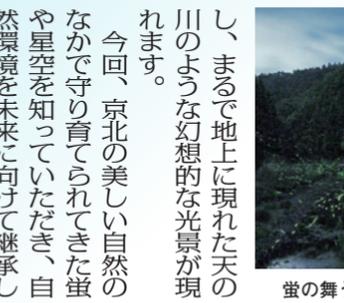


花降る里けいほく 初夏日より

ぷり味わっていたくことができまして。

◆恋活事業「恋する京北SAKURAMEGURI」
京都市・京北町合併10周年事業として4月18日(土)に実施した恋活事業「恋する京北SAKURAMEGURI」。

当日は恋を後押しするような晴天に恵まれ、約80人に加え男女が京北の桜の名所を巡りながらふれあいのひと時を過ごしました。



螢の舞う桂川

◆京北地域に棲む虫等を紹介する「虫と星のふるさと京北」の発行について
桂川の上流に位置し、清流に恵まれた京北地域は、市内有数の蛍の棲息地であり、満天の星空も見られます。例年、6月初旬〜7月初旬になると星空のもとで蛍が乱舞

し、まるで地上に現れた天の川のような幻想的な光景が現れます。今回、京北の美しい自然のなかで守り育てられてきた蛍や星空を知っていただき、自然環境を未来に向けて継承していくことを目的に、京北の虫の棲む場所や生態等を紹介するマップ「虫と星のふるさと京北」を作成しました。

◆「右京」コミュニティを「ご覧ください」
区民が右京の魅力自ら発信・運営する「右京コミュニティ」。開局から2年が経過し、動画の本数が充実してきました。



今年度も他ではみられない右京の動画がますます充実するよう、取り組んでいきます。皆さんも、是非ご覧いただき、地域の隠れた魅力を発見し、自らも発信してみませんか。

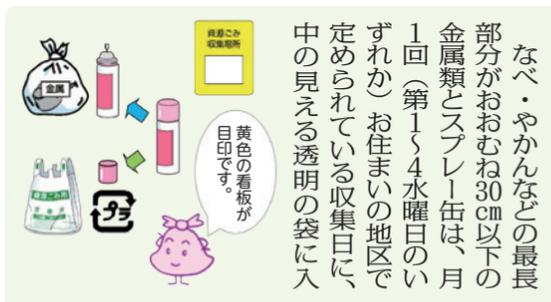


http://uctv.jp/
地域力推進室総務防災担当 ☎861・1784

「まちステーション」が行く！

京都市では、「小型金属類・スプレー缶」を定期収集しています。

なべ・やかんなどの最長部分がおおむね30cm以下の金属類とスプレー缶は、月1回(第1〜4水曜日)のいずれか)お住まいの地区で定められている収集日に、中の見える透明の袋に入



れ、袋に「金属」と書いてお近くの資源ごみ収集場所にお出しください。(京都市指定の有料指定袋をお使いいただく必要はありません) スプレー缶は、必ず中身を使いきってから、穴を開けずにお出し下さい。また、キャップは外してプラスチック製の「容器」と「包装」に分別してください。

梅津北モンキーズ初優勝！
4月12日(日)に行われた第44回中信杯全京都学童軟式野球春季大会で、梅津北モンキーズが初優勝し、学童の部16チームの頂点に立ちました。右京区のチームが優勝するのは、32年振りとのこと。



チーム代表者の三方守さんは「子どもたちは、試合を重ねるごとにチームとして成長し、まとまっていきましました。」と試合の感想をお話されました。チームの方針は、「まずは挨拶がきちんとできること、そして勉強

No.12 広がれ！地域のステキ★活動

地域に根差した中小企業の方でまちを元気に！
右京区では、地域に根差した活動をされている中小企業家同友会右京支部と連携して、子どもがものづくりの現場を体験して、将来の仕事を考えるきっかけとする「ものづくり塾や「ふれあいまつり」などの事業に取り組んでいます。



その一環として、まず会社のあるマンション前のプランターで花を育て、華やかな雰囲気を作り、マンション住民との交流にもつなげていきます。こうして築いてきたつながりをいかし、秋にはイベントを開催し、元気なまちづくりに少しでも貢献したい。」と話していただきました。

「かどヨソ」にご注目ください。